

Photo Gallery

まちの話題や風景を写真で紹介



市内農家が育てた小玉スイカ・ミラクルスイートを販売する「スイカまつり」を開催。多くの方が夏の味覚を買い求めました。(7月27日、北はりま旬菜館)



絵本を読み聞かせる「図書館おはなし会」を手話を使って実施。西脇市図書館初の試みで、子どもたちは「目」で物語を楽しみました。(8月17日、西脇市図書館)



道の駅北はりまエコミュージアムの来館者数が17年で550万人を突破。特産品などを販売する同館には、毎日多くの方が訪れます。(7月3日、道の駅北はりまエコミュージアム)



市役所2階の郷土作家ギャラリーで「西脇市美術協会写真部展」を開催。11人の作品11点を展示しています。(9月30日まで、西脇市役所)

卓球を通じた地域交流を一東京五輪をより身近に

〔7月29日 加東市内〕



小西社長から目録を受け取る片山市長(左)。気軽にできる卓球を、地域のひとと楽しみませんか

日本臓器製菓株式会社から西脇市へ卓球台とネット20組を寄贈いただきました。本市に実家がある小西龍作社長が、市のスポーツ振興に役立ててほしいとの思いで寄贈。西脇市は豪州卓球チームのホストタウンで、これをきっかけに市民の皆さんも卓球を楽しめるよう、地域の公民館で活用します。

地域に親しまれる病院を目指した「病院フェスタ」

〔7月27日 西脇病院〕



検査技師が血糖値を測って、健康であるためのアドバイスを実施

「医心伝心 笑顔でつなげる地域の輪」をテーマに開いた第11回西脇病院フェスタで、地域医療の現場を公開しました。舞台ではつまこども園の園児による歌の披露などがあつたほか、骨密度や血糖値を測って健康をチェックするコーナー、特殊な眼鏡と重りを付ける高齢者疑似体験も行われました。

古代文化に触れる夏休みの体験教室

〔7月～8月 播磨内陸生活文化総合センター〕



市内で出土した勾玉をモチーフに、色鮮やかな消しゴムを完成させる参加者

子どもたちに講座やものづくりを通して歴史を学んでもらおうと、郷土資料館がさまざまな体験教室を開催。「一日学芸員体験」では出土した遺物の洗浄作業体験を実施したほか、勾玉をモチーフに作る「消しゴムづくり教室」には多数の小学生が参加し、色粘土を使って勾玉消しゴムを完成させました。

まちの話題

特攻隊員が残した遺書―西脇市平和展で公開

〔8月13日～16日 茜が丘複合施設みらいえ〕



会場では遺品を保管する荻野とよこさんのメッセージや知覧特攻平和会館(鹿児島県)のパネルも展示



荻野八郎さんが出征する前の家族写真や、戦地から家族に宛てた遺書と手紙

第2次世界大戦中、フィリピンで戦死した西脇市出身の兄弟の遺品を展示する西脇市平和展「戦地からの手紙に込められた想い」を開催しました。遺品は、黒田庄町田高在住の荻野とよこさんの実家で保管されていたもの。平和展では、荻野さんの伯父である八郎さんと五郎さんが、戦地から家族に宛てた遺書や出征時に撮影した家族写真、戦地で持っていた家族からの手紙など16点を展示しました。西脇市では市民の皆さんに平和の尊さについて考えてもらおうと、毎年テーマを変えて平和展を開催しています。



全長350メートルの喜多バイパスが完成し、テープカットで祝う関係者

喜多バイパスが開通

〔8月3日 黒田庄町喜多〕

一般県道黒田庄多井田線「喜多バイパス」が完成し、安全祈願祭と記念式典が行われました。この区間は道幅が狭く、急カーブで落石の危険があったことから、西脇市が協力して兵庫県が整備。山を切り崩す工事や橋を架け替える工事を終え、西脇市日本のへそ時計の丘公園につながる2車線片側歩道付きの道路(全幅9・25メートル)が完成しました。



県立ものづくり大学の講師とともに溶かしたスズを型に流し込む体験に挑戦

金属を使ってもものづくりに挑戦

〔8月18日 兵庫県立ものづくり大学校〕

スズを溶かしたり、銅板をへらで押し付けたたりしてオブジェや時計を制作する体験教室に、16人の子どもたちが参加しました。こどもプラザが初めて実施した館外事業で、子どもたちは兵庫県立ものづくり大学校を訪ね、その道の匠である講師から金属の性質や特徴を教わりながら、加工体験をし、「ものづくり」の楽しさや難しさ、それらを生かした職業があることを学びました。

このコーナーでは、イベントやまちの話題、団体の活動などを紹介しています。耳寄りな情報は秘書広報課まで(市役所内線207)。

紙面に載せきれないまちの話題がどんどん届きます。西脇市 Facebook で情報発信中!